

月刊

河井克行



日本を、建て直す。



オバマ政権の対日外交・安全保障政策の責任者と二ヶ月連続の会談。
サリバン国家安全保障担当バイデン副大統領補佐官、
プレスコット・バイデン副大統領次席補佐官、グリーンNSC日本部長
(5月19日・ホワイトハウス)

平成 26 年

6
月号

第六次ワシントン DC 出張

「黒い雨」地域拡大を田村憲久厚生労働大臣に陳情

J R 可部線電化延伸等事業費が今年度政府予算に計上

第六次ワシントン DC 出張

～「頼れる」日本と安倍政権への期待の高まりを実感～

河井克行代議士は、オバマ米国大統領の日本訪問成功を受け、5月19日から21日までワシントンDCに滞在し、ホワイトハウス、国務省、マグサメン国防次官補代行ら政権高官や連邦議会の外交・軍事有力議員、知日派の有識者らと精力的に会談を積み重ねました。昨年5月から数えると六回目、今年春からは毎月のワシントン出張です。

アーミテージ元国務副長官「6月22日までの会期末までの閣議決定を100%支持する」。キャンベル前国務次官補「今国会会期末までに閣議決定に至ることが強く望ましい」。グリーン元NSCアジア上級部長「集団的自衛権容認の対応が遅くなることが心配である。通常国会中に閣議決定をされることは重要と考える」など、安倍晋三内閣総理大臣が取り組む集団的自衛権の限定的な容認について、会談相手全員から強力な支持が表明されました。さらに、オバマ大統領に日常接しているメデイロス国家安全保障会議（NSC）アジア上級部長からは「日米防衛協力の指針（ガイドライン）の今年末までの見直しに遅延が生じれば、さまざまな疑念を惹起することとなり、損失が大きい。よって、安倍総理のいまの取り組みを強く支持する」と集団的自衛権の容認が日米同盟の深化に果たす役割の大きさが訴えられました。今回の出張に、中西健治・みんなの党政策調査会長（参議院議員）が同行したことにより、安倍政権が集団的自衛権容認を進めていることに日本の国会で超党派の支持があることを米国の政府関係者や連邦議員に明示的に訴えることができました。

また、中越間で緊張が高まる南シナ海情勢や尖閣諸島をめぐる日中関係、そしてウクライナ情勢を受けた対ロシア外交などについても率直で活発な意見交換が行われました。

河井克行代議士は、帰国後ただちに安倍晋三内閣総理大臣、菅義偉内閣官房長官、高村正彦自民党副総裁をそれぞれ訪ね、会談の内容を詳しく報告しました。



オバマ政権のアジア外交に大きな影響を持つ
メデイロスNSCアジア上級部長



ラッセル国務次官補
ズムワルト国務次官補代理



アーミテージ元国務副長官にお会いすると
いつも勇気づけられます



キャンベル前国務次官補、
パテル前国務次官補代理と昼食



マイケル・グリーン元NSC
アジア上級部長と戦略国際問題研究所
(CSIS)で昼食会



ウィットマン下院軍事委員会即応小委員長（共）



ロジャース下院軍事委員会戦略
戦小委員長（共）



ブースタニ下院歳入委員（共）



アメリカン・プログレス研究所（CAP）
上級研究員のグレン・フクシマ
元USTR代表補代理



アイリーン・ヒラノ米日カウンシル会長



(5月20日)

訪米を報じるNHKニュース



(5月21日)

「黒い雨」地域拡大を田村憲久厚生労働大臣に陳情

「上安・相田地区黒い雨の会」の清木紀雄会長、丸町通夫事務局長ら五名は4月17日、田村憲久厚生労働大臣を大臣室に訪ね、黒い雨が降った同地区の実態と対策の必要性を熱心に訴えました。黒い雨について厚生労働大臣に住民団体が直接陳情することができたのは今回が初めてです。予定の面会時間を大幅に過ぎても田村大臣は皆様の話に真摯に耳を傾けつづけ、実態をよく調査したうえで回答すると応じました。



「黒い雨」地域
国に拡大要望
広島市の住民団体

広島市安佐南区の住民団体「上安・相田地区黒い雨の会」（約220人）が17日、田村憲久厚生労働相と面会し、原爆で降った「黒い雨」被害の指定地域の拡大などを要望した。

清木紀雄会長（73）たちメンバー15人が厚労省を訪問。小雨地域とされている上安・相田地区を含めて黒い雨が降った地域全域を国の援護対象とするよう求める要望書を田村厚労相に手渡し、非公開で懇談した。

懇談後、清木会長は「大臣に問題意識を持ってもらった。がんなどの病気に苦しむ高齢者は多く、早急に動いてほしい」と訴えた。清木会長たちが指定地域の線引きの問題点を指摘すると、田村厚労相は「（経緯などを含めて）よく調べてみたい」と応じたという。

「黒い雨」被害の指定地域見直しでは、国は2012年、広島市などが求めた約6倍の拡大を「科学的、合理的に難しい」と見送っている。不安解消策として、指定地域外の住民を対象に健康の悩みを聞く無料相談を昨年からはじめた。

『中国新聞』4月18日付

安佐南地区更生保護サポートセンタを現場視察

～保護司会、更生保護女性会と意見交換～

法務副大臣を務めていた時から更生保護に関心を持ち、現在「更生保護を考える議員の会」幹事長の河井克行代議士は、4月21日（月）、沼田町伴にある安佐南地区更生保護サポートセンタを訪れました。出所者の社会復帰を助けるために日夜を分かたず献身的な努力をしていらっしゃる関係者の皆さんの話を直に聞き、さまざまな課題が山積していることを痛感。さっそく翌日に党本部で開かれた司法制度調査会刑事司法制度小委員会で報告。国がより真剣に支えるよう、働きかけていきます。



J R可部線電化延伸等事業費が 今年度政府予算に計上

～平成28年春開業へ 工事の槌音が響く～

J R西日本からの延伸申請に対し、2月25日、国が事業の許可を与えたことにより、平成二十六年政府予算にJ R可部線電化延伸事業が計上されました。今年度は、①可部駅から新河戸駅（仮称）までの路盤工事、②軌道新設、③可部駅の改良などが行われます。合わせて、緑井駅の改良と横川駅の改良も実施される予定です。長年取り組んできた河井克行代議士は引き続き国土交通省などへの働きかけをしっかりと行います。



白木町 “志屋夢街道” 全線二車線開通記念式典

4月19日（土）、代田バス停付近で開催された記念式典において河井克行代議士は、巨大災害に備える国土強靱化のため、一層の社会基盤の充実に自民党国会議員として取り組んでいくことを約束。つづいて志屋ゲートボールドームで行われた祝賀会で、長年にわたり期成運動を続けた志屋地域の皆様をねぎらいました。



自由民主党広島県第三選挙区支部 衆議院議員 河井克行事務所

国会事務所 〒100-8982 東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館 1208 号室
TEL : 03-3581-5111(内線 71208) 03-3508-7518(直通) FAX : 03-3508-3948

広島事務所 〒731-0153 広島市安佐南区安東 2-1-22
TEL : 082-832-7301 FAX : 082-878-3301

公式HP <http://www.kawaikatsuyuki.com>

河井克行

検索